

児童発達支援

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年7月31日
事業所名 ミリミリ品川

保護者等数(児童数) 16 回収数 16 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	4	0	どちらともいえない	都心だと、スペース確保には難しいと思うし、特に言うことは無し	定期的に整理整頓しながら、模様替えをできるだけスペースを確保に努めております。
						どちらともいえない	仕方のないことだと思いますが、スペースはやや手狭とは思いますが。	
						どちらともいえない	もう少し広ければと思いますが、都心だと難しいのわかる。	
						いいえ	もっと広い方がいいが、都心で広いスペース確保は事業運営上難しいことは理解している。	
② 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	2	わからない	児のみ通所のため、保護者には実感が分からない。		
③ 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	1	2	どちらともいえない	これも仕方のないことですが、スペースの都合もあり、1人1人にあった座位保持椅子やクッションなどの設備が十分ではないかと思えます。	1人1人にあった座位保持椅子を確保するのは難しいですが、姿勢が崩れない、しっかり座れるようクッションなど使用し、工夫に努めております。	
④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	0	1	1	どちらともいえない	上記①と③と同じ		
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	1	0			
	⑥ 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	1	2			
	⑦ 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	14	0	0	2			
	⑧ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0			
	⑨ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2	わからない	②と同じ	
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	3			
	⑪ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	3	1	11	わからない	②と同じ	コロナ禍や感染症が流行っていた為実施できずでしたが、今後時期をみながら実施できるよう努めてまいります。
						いいえ	時々歳の離れた従姉妹とは会う機会はある	
	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	1	0			
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2	0	2			
⑮ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	0	2	0	どちらともいえない	連絡手段は通所時のノートのみであり、十分に連携できているかは不明	基本通所時の連絡帳、送迎時にお伝えし不明点や必要に応じてお電話や児発管が直接お話をするよう努めております。	
⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1	1	わからない	バスの乗り降りですぐくらしが無いので	個別面談や必要に応じてお話をさせて頂いております。	
					いいえ	今年から通所が始まったので、わかりません		
⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0				
⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	2	4	どちらともいえない	これからそういうのが増えると思う	昨年度より、懇親会実施 今年度は、7月保護者会、懇親会12月懇親会を予定。 アンケートをとりながら、保護者の方々の交流や保護者同士のつながりが支援できるよう努めて参ります。	
					わからない	これからあると思うので？		
⑲ 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	1	4			相談等には、できるだけ迅速に対応できるよう努めております。	

保護者への説明等

児童発達支援

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年7月31日
事業所名 ミリミリ品川

保護者等数(児童数) 16 回収数 16 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見		ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
非常時等の対応	㉑ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	2			
	㉒ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	1	4			年4回事業所内の通信発行 事業所合同行事等の通信発行 月間スケジュール毎月発行
	㉓ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	0			
	㉔ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3			今年度は、保護者会にて食中毒についての講義を実施。 事業所内では、防犯対策や感染等に関してスタッフ間で共用し勉強会など実施しております。
	㉕ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	1	4			避難訓練等年3回、災害時伝言ダイヤルの訓練4回計画、実施しております。
	㉖ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	3			
満足度	㉗ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	1	3			
	㉘ こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	1	2			
	㉙ こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	1	0			
	㉚ 事業所の支援に満足していますか。	15	0	1	0	はい	スポットも増やしていけたらと思ってます	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。